



2023年度 事業報告

公益財団法人東京YWCA

目次

東京YWCA 2023 年度基本方針・重点課題.....	1
I 平和と人権事業.....	2
日本で学ぶ外国人留学生支援／留学生助成／中国帰国者日本語支援／平和をつくるキャンペーン／平和と人権に関する人材育成／NPO/NGO 団体への語学支援	
II 青少年育成事業.....	6
教育キャンプ／体験学習／学習支援／青少年リーダー養成	
III 女性の健康事業.....	9
女性の健康づくり／疾患後の女性の健康づくり／障がい児・者の健康づくり	
IV 社会福祉に資する事業.....	10
療育（NPO 支援）／発達支援相談／発達支援体験／障がい児家族支援体験／高齢者電話相談／読むことが困難な人々への支援（DAISY）／療育（児童発達支援センター）／障がい児・者介護／高齢者介護／介護予防体験／統合保育／学童保育	
V 非営利機関・団体への施設貸与事業.....	15
VI 東日本大震災被災者支援事業.....	15
VII 収益事業および共益的な事業.....	15
不動産賃貸／フィットネスクラブ／語学事業及び教養講座／販売／理解普及（会員グループ）	
VIII その他.....	17
会員数／職員数／事業に参加したボランティア／出版物／世界YWCA・日本YWCA が実施した集会・研修等への派遣／YWCA 関連の海外からの来訪者または訪問	
2023 年度公益財団法人東京YWCA組織図.....	18
理事・監事・評議員.....	18
財務諸表.....	19
事業を行っている主な拠点	

■事業報告補足 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況

新型コロナウイルス感染症の影響は 2019 年度から始まり、東京YWCA でも換気や手指消毒、飛沫対策などの感染対策に留意しながら事業を実施してきた。2023 年 5 月に、新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ「5 類」に移行され、日常生活は感染対策をとりつつも感染拡大前にほぼ戻ってきたことから、予定されていたプログラムは感染拡大を理由に中止することなく実施することができた。

東京YWCA 2023 年度基本方針・重点課題

東京YWCAの2023年度の基本方針・重点課題は、日本YWCAのビジョン(※)をふまえ、以下のとおりであった。

- 基本方針**
1. 非戦の立場に立ち、平和憲法を護り、活かす。
 2. 核兵器のない世界、原発のない社会を目指す。
 3. 持続可能な環境の実現に努める。
 4. いのちを尊び、平和を願い求める青少年を育てる。
 5. 個人の尊厳を重んじ、支え合う社会を目指す。

- 重点課題**
- ・ 憲法改悪阻止と、武力によらない平和の実現のために行動する。
 - ・ 女性の人権と健康を守り、ジェンダー平等を実現する。
 - ・ 多様性を受容できる寛容な社会に向けて行動する。
 - ・ 非核の立場から原発について学び、脱原発を目指して行動する。
 - ・ 地球温暖化抑制のために行動する。
 - ・ ユースのエンパワメントを推進する。

東京YWCAの定款に定めた目的である「すべての人びとのために自由と尊厳、正義と平和を実現する」ために、公益目的事業を柱とした事業を実施した。加盟する日本YWCA・世界YWCAや関係団体と連携し、国際NGOとして、またキリスト教基盤に立つ団体として、女性や子ども、生きづらさを抱える人のために、社会変革に取り組んだ。

2023年5月、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで制限が緩和され、東京YWCAも対面でのプログラムが増え、活発な活動を取り戻しつつある。10月、パレスチナ問題の悪化は世界を揺るがし、1月の能登半島地震では甚大な被害がもたらされるなど、国内外では困難な状況が続いている。東京YWCAは多くの皆さまの支援と協力により、後述の通り事業活動を行うことが出来た。

(※)日本YWCA第33総会期 主題聖句・ビジョン・ミッション・バリュー

- | | |
|--------------|--|
| 主題聖句 | 平和を実現する人々は幸いである —マタイによる福音書5章9節 |
| ビジョン | 女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にする社会 |
| ミッション | 若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。 |
| バリュー | <ol style="list-style-type: none">1. キリスト教基盤
すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣（なら）って行動します。2. 平和・環境
アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。3. 人権
人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくります。4. セーフ スペース
会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。 |

I 平和と人権事業 (公益目的事業 事業番号：公1)

この事業は、平和、非暴力、非核、非戦を訴え、人権が尊重され、すべての人が共に生きる世界の実現を目指し、社会で不当な圧力を受けやすい人々を支援する事業です。

1. 日本で学ぶ外国人留学生支援事業

1 人の留学生と 1 人の東京YWCA会員（母親）による家庭交流は、新型コロナウイルス感染症拡大前と同じ春から始めることができた。8 月には今年初めて留学生と家庭交流をする会員と経験ある会員との懇談会で、交流の中での悩みや迷いを話し合った。体調を崩しアルバイトが出来なくなった組み合わせ留学生に留学生資金から 5 万円の供与を行った。

留学生相談室は、相談員養成が出来なかったため休室した。留学生や会員からの相談や学校からの問い合わせは、事務局が対応した。留学生談話室はオンライン中心で開催し、会館で季節の行事を経験しながら談話する会も数回もった。

2. 留学生助成事業

東京YWCA「留学生の母親」運動奨学金は、4 人に支給した。4 人の抱負は、ジャーナリストをめざし社会に問題を発信し世界の格差・差別の是正に努めたい、行政書士になり女性の就労を支援したい、母国に日本語学校を作り日本との懸け橋になりたい、日本語教師として若者の教育を支援したい等であった。10 月に奨学生の前期の様子を聞く報告会を開催した。夏休みのアルバイトや地域のボランティア活動体験の報告を聞き、参加した先輩留学生が奨学生に大学院進学への勉強方法や日本語力向上の技術等をアドバイスした。1 月に寄付者を招き報告会を開いた。

3. 中国帰国者日本語支援事業

日本語学習サロンは、主に日本語教室を修了した高齢の帰国者を対象に日本語の運用力を身につけ、社会参加をうながすことを目的に 8 月を除き、年間を通して、月に 2 回対面で開催した。帰国者の参加は減少傾向にある。

4. 平和をつくるキャンペーン

平和、非暴力、非核、非戦の啓発活動は、6 月に「沖縄慰霊の日 SNS で平和の輪を作ろう！」キャンペーンを実施。10 月に上映会『夜明け前のうた～消された沖縄の障害者』、1 月に『ガザに生きる』全 5 部作の上映会、2 月には憲法カフェ「女性の政治参加～ジェンダー平等の実現に向けて～」に地方女性議員を迎えて実施した。3 月のシンポジウム「戦争体験の

継承について考える」では、沖縄・広島・長崎で平和活動を実践している 5 人の登壇者から話を聞いた。

女性の権利を知ること、女性への暴力、また被害にあった女性の支援の実際を知るために、女性の人権勉強会企画会を発足し、シリーズで 2 回、集会を開催した。

Rise Up! School Visits (RUSV) は、2 月下旬に先進的な包括的性教育に取り組んでいる韓国ソウル市にある施設 4 か所と韓国YWCAを訪問し、包括的性教育を学んだ。

HIV/AIDS 啓発のためのキャンペーンは、今年度は具体的な取り組みは実施しなかった。

紛争・災害時緊急支援事業は、東日本大震災被災者支援事業を引き継ぎ、新しい事業として 4 月にスタートした。2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の風化を防ぐプログラムとして、福島県在住の写真家で高等学校美術教員の赤城修司さんの写真展と講演会を 4 月に実施した。また、東京近郊に避難している人への支援を、都内社会福祉協議会や災害支援ボランティア団体、行政でつくる広域避難者支援連絡会 in 東京にオブザーバー参加して、6 月と 11 月に大規模交流会を、2 月に当事者と支援者のミーティングを実施した。1 月に発生した能登半島地震に対しては、東京ボランティア・市民活動センター、災害サポート東京、東京都の三者による都内一斉街頭募金活動の提案に賛同し、2 月 15 日に日本YWCA、東京都社会福祉協議会と共に JR 御茶ノ水駅周辺の街頭に立ち、募金を呼びかけた。募金活動は 3 月末まで延長し、寄付は中央共同募金会「ボラサポ・令和 6 年能登半島地震」に送った。現地で活動する小さい団体への助成金として用いられる。

5. 平和と人権に関する人材育成事業

支援者エンパワメントプログラムは、DV被害者を支援する支援者を育成・サポートする取り組みとして、支援者研修とそのフォローアップ、そして支援者サロンなどを行った。今年度は、4 年ぶりに東京YWCA会館で「DVサバイバーと協働するための支援者トレーニング」を 7 月と 2 月に対面で実施することができた。

インターンシップ事業は、7 月から 3 月までの間、学生 3 人を受け入れ、主に DV や DV 被害者支援について学びを深めるプログラムを通して人材養成に努めた。HIV/AIDS 啓発の

ための人材養成は、今年度は具体的な取り組みは実施しなかった。

※支援者エンパワメントプログラムは、運営費の一部に次の助成金を受けて実施した。東京都「令和5年度東京ウィメンズプラザ配偶者暴力防止等民間活動助成事業」、公益財団法人パブリックリソース財団「支援者エンパワメントプログラムのために（Give One サイト）」。

6. NPO/NGO団体への語学支援

依頼は近年減少傾向にある。受けた案件は、すべてボランティアメンバーが期限までに翻訳することができ、無事依頼団体に渡すことができた。ことに日本YWCAから依頼された世界YWCA発行の資料の翻訳は、総ページが81ページあり3回に分けて1年間かけ、延べ34人のメンバーが携わった。翻訳スキルアップ講座は年2回開催した。

I-1 日本で学ぶ外国人留学生支援事業

家庭交流

「組み合わせ」内訳(人)

会員	25
留学生	28

(留学生2人担当の会員3)

「組み合わせ」の会員内訳(人)

新会員	4
2年目以上の会員	21

「組み合わせ」の留学生内訳(人)

国費生 (文部科学省)	3
日本語学校	6
専門学校	3
大学	7
大学院	9

留学生資金貸与	前年度より継続返済		0
	新規	長期貸与	0
		短期貸与	0
留学生資金供与			1

留学生組み合わせ出身国・地域

国・地域	人数	女性	男性
中国	13	8	5
韓国	3	3	0
台湾	3	2	1
イギリス	1	1	0
インド	1	0	1
ネパール	1	1	0
ベトナム	1	1	0
ペルー	1	1	0
マレーシア	1	0	1
南スーダン	1	0	1
モンゴル	1	0	1
ヨルダン	1	0	1
計	28	17	11

支援事業の年間プログラム	日にち	延参加者数			
		会員	留学生	一般	合計
家庭交流について留学生向け説明会(オンライン)	5/17	5	16	2	23
組み合わせ申込者の面接	6/1,3,4,7,10,22	20	28	-	48
対面の会	7/1	46	21	9	76
『お母さん』のおしゃべり会(家庭交流における情報共有)	8/26	11	-	-	11
母の会「You アンド I ではなく We の精神で!!」	3/15	44	-	5	49
夏祭り 浴衣を着て日本文化を楽しもう!	7/29	20	26	6	52
御茶ノ水界隈ラリーとクイズで遊ぶ日本文化	9/30	22	19	3	44
日本語発表会(オンライン)	12/16	29	8	2	39
卒業お祝い会(オンライン)	3/2	9	3	-	12

※留学生相談室:開室なし

※ショートホームステイおよびホームビジット:中止

	延回数	延ボランティア数		延参加者数	
		会員	一般	留学生	一般外国人
留学生談話室(日本語支援)	38	253	74	182	0
日本語個別支援	970	970	0	970	0

I-2 留学生助成事業

「留学生の母親」運動奨学金

応募者数	63		日にち	参加者数			
支給奨学生内訳(国・地域別)				会員	留学生	一般	合計
中国	1	第1回奨学生報告会	7/22	7	4	0	11
ベトナム	1	第2回奨学生報告会	10/14	5	7	3	15
韓国	1	奨学生の集い	1/27	16	4	4	24
ミャンマー	1						
計	4						

※「留学生の母親」運動 特別奨学金は実施せず。

I-3 中国帰国者日本語支援事業

日本語サロン

延回数	延ボランティア数	延参加者数
22	86	104

I-4 平和をつくるキャンペーン

クリスマス

	日にち	場所	参加者数
青葉のまつり	12/2	東京YWCA会館	20
Christmas for Peace	12/16	東京YWCA会館／オンライン	21
センタークリスマス(板橋センター)	12/5	板橋センター	23
センタークリスマス(国領センター)	12/15	国領センター	23
センタークリスマス(武蔵野センター)	12/13	武蔵野センター	18

憲法カフェ

	日にち	講師	場所	参加者数
第40回「女性の政治参加」	2/10	武井多佳子	東京YWCA会館／オンライン	21

女性の人権勉強会

	日にち	講師	場所	参加者数
第1回「女性支援のいま」	9/30	婦人相談員	東京YWCA会館／オンライン	22
第1回を終えて第2回に向けた参加者おしゃべり会	10/7	-	東京YWCA会館	5
第2回「性暴力は人権侵害です」	12/23	内田絵梨	東京YWCA会館／オンライン	27

沖縄関連プログラム

	日にち	講師等	場所	参加者数
2023年沖縄慰霊の日SNSアクション	6/19～6/24	澤田聖也、河村雅美、元山仁太郎、石川勇人、前泊博盛	-	-
『夜明け前のうた』上映会&トーク	10/14	平良愛香、糸洲のぶ子、原義和	東京YWCA会館	83
沖縄の米軍基地による環境汚染(むさしの市民平和月間参加プログラム)	11/25	河村雅美	武蔵野センター／オンライン	35

その他のプログラム

	日にち	講師等	場所	参加者数
上映会『ガザに生きる』全5部作上映	1/20	講演 土井敏邦	東京YWCA会館	106
戦争体験の継承を考える	3/23	仲本和、藤田裕佳、高橋悠太、石川勇人、狩俣日姫	東京YWCA会館／オンライン	56
Rise Up!スタディツアーin韓国	2/27～2/29	-	韓国	6
Rise Up!スタディツアーin韓国報告会	3/30	-	東京YWCA会館／オンライン	19

紛争・災害関連

	日にち	場所	参加者数
赤城修司写真展 「ふくしまの声を聞く ～ぼくの見た福島2011-2023～」	3/11～4/11	東京YWCA会館ロビー	入退場自由
赤城修司講演会 「ふくしまの声を聞く ～ぼくの見た福島2011-2023～」	4/1	東京YWCA会館	40
能登半島地震街頭募金活動	2/15	JR御茶ノ水駅近辺	20

他団体との協力

	日にち	場所	参加者数
0422市民クリスマス	12/9	カトリック吉祥寺教会	180

※他団体との共催で参加者は概数。

I-5 平和と人権に関する人材育成事業

支援者サロン(DV被害者支援者の交流の場)

延回数	延参加者数
3	10

DVサバイバーと協働するための支援者トレーニング

	日にち	講師数	受講者数
支援者トレーニング(全2日間/計14時間) ※	7/15～7/16	4	21
〃	2/23～2/24	4	23

※内容(7月、2月同じ)

1日目 :「DV、サバイバーを理解する」(社会問題としてのDV、社会的抑圧、DVのからくり、サバイバー心理など)

2日目 :「支援に必要なスキルを学ぶ」(サバイバー中心の支援、支援倫理、サバイバーの安全確保、必要な技法、セルフケアなど)

	日にち	講師数	受講者数
支援者トレーニングのフォローアップ研修	10/28	2	10

オーダーメイド研修

依頼元	延回数	延講師数	延受講者数
社会福祉法人東京援護協会東が丘荘	4	5	24
社会福祉法人 特別区社会福祉事業団 宿所提供施設 淀橋荘	2	4	13
埼玉県(婦人相談センター)	1	2	23

インターンシップ

インターン生の人数	3
-----------	---

内容	DV講習	①DVの基礎を知る ②支援現場を見学する
	交流会	「東京YWCAについて」、「ジェンダーについて」、NWEC訪問
	その他	事務局サポート、MIW祭り参加、「女性に対する暴力をなくす運動」啓発活動、修了報告会

I-6 NPO/NGO団体への語学支援

依頼団体	件数	依頼内容
公益社団法人Civic Force	3	ニューズレターvol.29、30、31 英訳
認定NPO法人国境なき子どもたち	2	活動報告書英訳、ニューズレター内コラム英訳
国際婦人年連絡会	1	イベント動画の英語部分訳
日本キリスト教協議会(NCC)	1	世界祈祷日スライド説明文 和訳
国際力動的心理療法学会	2	訓練ワークショップ通訳、学会ワークショップ資料和訳
公益財団法人日本YWCA	2	資料和訳

	延回数	延講師数	延参加者数
翻訳研修会	2	2	31

Ⅱ 青少年育成事業（公益目的事業 事業番号：公2）

この事業は、子どもたちの固有の人格をかけがえのないものとして尊重し、他者と共に生きるグローバルな視点をもった人として全人格的に成長していくことを支援する事業です。

1. 教育キャンプ

春のワークキャンプから野尻の夏は始まった。

キャンピンの窓に網戸を増設して猛暑に備え、外からの視線と紫外線をカットするための遮光シートを貼った。

各キャンプには、グループワークをより実践しやすくするためのテーマが設定されており、小学生アドベンチャーキャンプや信濃町小学校の子どもキャンプでは、江戸時代からタイムスリップしてきた忍者の「のじぞう」に、敵から逃げる忍術を伝授した。中高生ガールズキャンプは、「野レーメン（ブレメン）」を目指し、最終日にはフェスが開催された。ファミリーキャンプでは、参加者がグループや家族の枠を超えて「ひとつの野尻ファミリー」になった。

小学生の冬休みスキーキャンプでは、ダークプリンセス（黒姫）星から来た宇宙人にピンブルペンザ（インフルエンザ）の治し方を教え、春休みスキーキャンプでは、天狗のてんちゃんとダルマのだるちゃんに学校のことを教えてあげた。中高生スキーキャンプは、スキー講習終了後の雪遊びや夜の花火など、今までとはひと味違ったプログラムが展開された。

春夏秋のゆかりステイは四季折々の野尻を楽しめると人気のプログラムであるが、冬季はキャンプ場の積雪状況が芳しくないが続いているため、開催時期について課題が残る。

2. 体験学習

今年度、家族対象の日帰り自然体験プログラムは、プログラム内容を検討するため中止し、東京YWCA会館カフマンホールで、放課後に子どもたちが安全に遊べる居場所として「あそびむし」を実施した。ユースボランティアが企画し、6月オープニング、7月七夕、10月ハロウィン、12月クリスマス、2月豆まきのテーマで、工作をしたり、みんなで遊べるゲームをした。青少年水泳に通う子どもを中心にリピート参加が多かったが、参加者層を増やすことには課題が残った。

青少年水泳は、心身の健全な成長を目指し泳力を養うことを目的に、スイミングとアーティスティックスイミング（以下AS）の講習を実施した。ジュニアは初心者ニーズが高かった。7月に着衣泳を4年ぶりに実施し、各期の最終日は飛び板や滑り台で自由に遊ぶ時間を設けた。短期講習は夏と春に実施し盛況だった。ティーンズは昨年より中学生の参加が

増えた。水球等の遊びの要素を取り入れながら練習を重ねた。ASは初心者も熱心に技を習得し、期毎に練習の成果を発表した。なお4月から1か月間は施設整備で事業を中断した。

3. 学習支援

日本語を母語としない親を持つ子どもたちへの日本語・学習支援「いちごの部屋」は、毎週木曜と土曜に武蔵野センターで対面支援を中心にオンラインも並行して実施した。6歳～18歳の子どもとその保護者を対象に、支援希望も増えている。新たに外国ルーツの子どもの保護者を対象にした「ペアレンツ・カフェ」を9月から開始した。また東京YMCA主催「外国ルーツの子どもたちのためのサマーキャンプ」の企画と実施に協力した。

支援ボランティアに5人が新規登録した。ボランティア34人中11人はユース（大学生や20代の社会人）だった。「いちごの部屋ユース会議」を立ち上げ外出プログラム2件と大学の学園祭訪問を企画し実施した。ボランティア研修を日本語指導と教科学習をテーマに実施した。大学の日本語教員養成課程の授業に委員1人と職員がゲスト講師として参加するなど近隣大学との連携も進んでいる。

*運営費の一部を「三菱財団×中央共同募金会～新型コロナウイルス感染下において困窮する人々を支援する～外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」を受けて実施した。

4. 青少年リーダー養成

春の森林ワークキャンプでは、チェーンソーの扱い方を学びながら危険木を伐採した。続くワークキャンプでは、多くのボランティアやリーダーが参加して久しぶりの再会を喜び、楽しみながらキャンプ場内の落ち葉を掃き、溝を掘った。

7月に野尻キャンプ場でキャンプクラフトやキャンプソングの実践トレーニングを実施し、キャンプ生活を皆で確認しあう良い機会となった。オープンウォーターキャンプではコースロープを割れやすい素材のものから発泡ポリエチレンのプールのスティックに入れ替え、水上プログラムのより安全な実施方法について話し合う時間を持った。

継続参加している大学生リーダーが増えてきたため、個々の習熟度に合わせた階層別トレーニングを実施している。

Ⅱ-1 教育キャンプ

*人数は実数

プログラム	開始日	日数もしくは終了日	参加者数			リーダー・講師数	参加人数合計
			女	男	合計		
教育キャンプ(東京YWCA野尻キャンプ場:長野県野尻湖畔)							
子どもキャンプ(信濃町小学校の子ども対象)	7/16	7/17	16	15	31	13	44
小学生アドベンチャーキャンプ	8/10	8/13	19	16	35	15	50
中高生ガールズキャンプ	8/13	8/17	5	0	5	11	16
教育キャンプ(野尻キャンプ場以外:黒姫高原スノーパーク(長野県)菅平高原スノーリゾート(長野県))							
冬休み小学生スキーキャンプ	12/26	12/29	21	16	37	13	50
冬休み中高生スキーキャンプ	12/26	12/29	8	4	12	2	14
春休み小学生スキーキャンプ	3/26	3/29	16	11	27	10	37
春休み中高生スキーキャンプ	3/26	3/29	4	2	6	2	8
体験プログラム(東京YWCA野尻キャンプ場)							
ファミリーキャンプ①	7/29	7/31	6	6	12	4	16
ファミリーキャンプ②	8/4	8/6	1	3	4	3	7
春のゆかりステイ	4/29	5/1	8	5	13	0	13
夏のゆかりステイ	8/21	8/24	12	1	13	1	14
秋のゆかりステイ	11/3	11/5	8	3	11	2	13
冬のゆかりステイ【中止】	2/23	2/25	-	-	-	-	-
他団体からの委託キャンプ							
恵泉女学園大学キャンプ	8/21	8/24	9	0	9	4	13
恵泉女学園大学スキーキャンプ	2/4	2/7	8	0	8	1	9
野尻キャンプ場を提供しYWCAのキャンプリーダーを派遣して行うキャンプ							
竜ヶ崎教会キャンプ	8/18	8/21	15	3	18	3	21

Ⅱ-2 体験学習

子ども会

	延回数	延ボランティア数	延参加者数
あそびむし(東京YWCA会館)	5	10	68
子どもクラブももたろう(国領)	休止	-	-

みんなで楽しむアウトドアライフ(親子対象日帰り自然体験)

※休止

青少年水泳

	延回数	延参加者
ジュニアスイミング (小学1年～4年の男女)	104	1727
ジュニアアーティストックススイミング (小学3年～中学3年の女子)	35	175
ティーンズスイミング (小学4年～中学3年の女子)	34	376
ジュニア短期講習(夏) (小学1年～4年の男女)	9	122
ジュニア短期講習(春) (小学1年～4年の男女)	3	40

Ⅱ－3 学習支援

日本語を母語としない親を持つ子どもとその保護者を対象にした日本語および学習支援

支援した人の数

	前年度から 継続	新規登録	合計
子ども(6歳から13歳)	8	7	15
子ども(14歳から18歳)	9	4	13
保護者	3	5	8

ボランティア登録数

	登録数(3月末)
ボランティア(会員)	11
〃 (一般)	23

ボランティア研修会

延回数	延講師数	延参加者数
3	6	55

ペアレンツカフェ(保護者のためのプログラム)

延回数	延ボランティア数	延参加者数
6	23	10

特別プログラム(外出プログラムなど)

	日にち	延ボランティア数	延参加者数
多摩六都科学館へ行こう!	6/23	7	6
大学に行こう(成蹊大学)	11/18	2	2
大学に行こう(東京外国語大学)	11/23	3	2
江戸東京たてもの園に行こう	3/30	11	4

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	子ども(6歳から13歳)	8	10	13	13	12	11	11	11	11	11	11	12	—
	〃 (14歳から18歳)	9	9	8	8	8	9	8	8	10	10	9	8	—
実際に支援した人の数	子ども(6歳から13歳)	8	10	13	12	7	10	8	7	8	8	8	10	109
	〃 (14歳から18歳)	8	8	8	8	6	7	7	7	8	8	7	6	88
	保護者	3	1	0	0	1	1	2	1	1	1	0	2	13
開室日数		8	7	10	9	8	10	10	10	9	9	12	9	111
参加者 (延数)	子ども(6歳から13歳)	18	24	35	32	17	26	26	21	26	22	22	26	295
	〃 (14歳から18歳)	22	23	34	28	18	25	23	25	27	27	20	20	292
	保護者	4	1	0	0	3	4	6	2	2	2	0	2	26
ボランティア (延数)	会員	20	21	19	31	20	21	18	24	22	21	16	20	253
	一般	26	38	59	39	29	33	35	29	38	32	29	30	417

Ⅱ－4 青少年リーダー養成

	期間・回数	参加者数(宿泊ないものは延数)			講師等	参加人数 合計
		女	男	合計		
森林ワークキャンプ	5/3～5/5	8	6	14	0	14
ワークキャンプ	5/5～5/7	9	3	12	0	12
リーダーズトレーニングキャンプ	7/15～7/16	4	3	7	2	9
オープンウォーターキャンプ	7/22～7/24	4	1	5	0	5

Ⅲ 女性の健康事業（公益目的事業 事業番号：公3）

この事業は、運動の機会を必要とするすべての女性の心身の健全育成をはかることを目的とする事業です。

1. 女性の健康づくり

サポートコースでは、体力の維持・向上、生活習慣病予防などの目標に向けて運動を継続できるよう一人ひとりを支援した。体組成、握力を測定して運動効果を確認し、生活習慣についてアドバイスした。4月中旬よりシャワー給湯設備の整備のため、約1か月間プールの使用を休止した。休止中はジムやスタジオを利用して運動習慣を維持する人が増えた。メンバーの平均在籍は昨年度より僅かに増えた。健康セミナーは11月と3月に実施し、参加者は熱心に学んだ。こころの健康相談は隔月で設定した。からだの健康相談は休止した。

2. 疾患後の女性の健康づくり

乳がん手術後の女性のための「アンコア」は、47期を10月に開講した。参加者は講義や運動に積極的に参加し、交流を楽しんだ。アンケートでは、不快さや痛みが軽減して以前より動きやすくなる等の身体的効果がみられた。また、気持ちが前向きになった、精神的に楽になった等のメンタル面での変化もみられた。

腰・膝の関節痛の予防、改善のための水中運動「ディープ

ウォーターウォーキング」は4クラスを通年で実施した。クラスに参加して、足や身体が軽くなった、階段の昇降が楽になった、関節の痛みが和らいだ等の変化を感じている人は多く、日常生活での姿勢や歩き方を意識するようになった人もいた。1月には理学療法士を招いて指導者研修を行った。

3. 障がい児・者の健康づくり

肢体不自由者水泳「あひるの会」は6月よりスタートした。参加者はボランティアが見守る中、水中での運動を楽しんだ。ボランティアが3人加わり、勉強会を5月と12月に行った。発達に遅れや偏りのある女兒の親子水泳「かめさんくらぶ」は6月から開始し、新規参加者3組が加わり満員となった。一人ひとりに合わせた指導を行い、ボランティアが3人体制でサポートした。子どもたちは楽しみながら泳力を養った。

プールでの運動を個別指導する「アクアサポート」は2人が定期的に利用した。

*肢体不自由者水泳は、社会福祉法人東京都共同募金会からの助成金を運営費の一部として実施した。

Ⅲ-1 女性の健康づくり

サポートコース利用者数

延入会者	延退会者	3月末在籍者
40	39	242

健康セミナー

テーマ	参加者数
今から始めるフレイル予防	18
足のセルフコンディショニング	25

健康相談

種別	延回数	延利用者数	種別	延回数	延利用者数
からだの健康相談（休止）	-	-	こころの健康相談	3	3

Ⅲ-2 疾患後の女性の健康づくり

	延回数	延参加者数
乳がん手術後の女性のためのプログラム	8	87
腰・膝の関節痛の予防、改善のための水中運動	161	2076

Ⅲ-3 障がい児・者の健康づくり

	延回数	延参加者数	延ボランティア数
肢体不自由水泳（あひるの会）	83	140	191
発達に遅れや偏りのある女兒の親子水泳	20	202	43
アクアサポート	49	49	

IV 社会福祉に資する事業（公益目的事業 事業番号：公4）

この事業は、一人ひとりが尊重され、その人らしく生きることのできる社会の実現を目指し、高齢者、障がい児・者とその家族、子育て家庭等の福祉の増進に寄与する事業です。

個人・団体等のご寄付とこの法人の収益により、以下の事業を実施した。

公4-1. 療育事業（NP0 支援）

この事業では、青年期に入り成人した障がいをもつ人に対して、NP0 法人東京YWCA福祉会が行う就労継続支援B型事業に東京YWCA板橋センターの一部施設を無償貸与し、職員や会員、ボランティアが事業に協力、支援を行った。

公4-2. 発達支援相談事業

発達支援相談事業は、心理の専門家による「子ども発達支援室」を実施した。発達に課題やニーズがあると指摘されたものの、目の前の子どもへの関わりに戸惑いや悩みを持つ保護者に対し、具体的な助言の場として役割を果たした。

公4-3. 発達支援体験事業

板橋センターで行う「にじいろ教室」は、陶芸、ヨガ&ダンス、絵画・造形、料理、体操の5クラスを実施した。11月に板橋センターが改築20年を迎え、オープンデーを開催し、陶芸とアートの作品を展示し、多くの方に見て頂く良い機会となった。

国領センターでは、サッカークリニックを継続し、2クラスともほぼ定員となった。コーチと企業ボランティアの協力体制の下、毎回充実した内容で実施することができた。

公4-4. 障がい児家族支援体験事業

障がいのある兄弟姉妹をもつ子どもと家族を対象に、障がい児「きょうだいの会」の活動を実施した。きょうだい児対象のプログラム「きらりんこ」は地域のお祭りや電車での外出、お菓子作りなどの活動に、毎回18人前後が参加した。高校生ジュニアリーダーも活躍し、きょうだい児支援に関心の高いボランティアリーダーの参加もあった。長期休暇期間中に小学6年生以上のきょうだい児に居場所として板橋センターの部屋を開放した。上級生同士のつながりを深めるきっかけづくりができた。

また、保護者対象の「いどばた」は、親同士の情報交換を通して障がい児ときょうだい児の子育てをする仲間の存在を

確認できる場となった。

家族単位で参加交流するプログラムである「ふぁみりんこ」は、感染予防のため実施しなかった。

自然体験と様々な家族の出会いと交流を目的とした親子参加型プログラム「いっぽの会」は今年度は実施しなかった。

公4-7. 高齢者電話相談事業

「シニアダイヤル」は29年目を迎えた。ネットなどの使用が定着して人との接点が減少傾向にある中で、話を聞いてもらえてよかったという声が多く聞かれる。相談の場が大切にされていることを実感し、ボランティア相談員の意欲が高まっている。

相談対応の質向上とより良い体制づくりのため、専門家の指導による研修を毎月欠かさずに行い、相談員全員が出席した。その他、公開研修として松崎晃一さんをお招きし、アンガーマネジメントについてお話しいただいた。また研修の一環でNP0 法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンターが主催したユニバーサルホスピスマインドについての講演会に参加し、電話の向こうの相談者に対するこちらの在り方を学び、深めることができた。

公4-10. 読むことが困難な人々への支援事業（DAISY）

この事業では、感染対策をしながら音声DAISY製作を行い、年間を通してリスナーに届けることができた。マルチメディアDAISY製作は、定期的な会合を積み重ね、マニュアル作成に取組み、1つ1つ作業を確認しながらすすめた。

ボランティア養成のために、音訳講習会（全9回）とマルチメディアDAISY製作講習会（2日間）を実施した。今年も定員を超える応募があり、終了後には数人が活動に加わった。

*この2つの講習会は、公益財団法人愛恵福祉支援財団から助成を受けて実施した。

補助金および助成金事業、または委託事業として以下の事業を実施した（P24 参照）。

公4-1. 療育事業（児童発達支援センター）

「東京YWCAキッズガーデン」は、放課後等デイサービスとの多機能型として21年目、障がい児支援の地域拠点として相談支援機能を含む児童発達支援センターとなって7年目を迎えた。感染症対策を徹底し、調理・外出・親子参加プログラム等工夫して実施した。ABA（応用行動分析）をベースとする療育を実践し、質を上げるための研修や実践の仕組みを常に検討し取り組んだ。幼稚園・保育園・他事業所との併用児が増える中、関係機関とのより丁寧な連携・協働を積み重ねた。また、区内私立幼稚園要支援児の行動観察の依頼は5年目となり、幼稚園教諭研修も担当した。「板橋区障がい福祉計画2030」策定委員会の一員として役割を担った。

公4-5. 障がい児・者介護事業

感染対策を徹底し、居宅介護、移動支援等のサービス提供を行った。新型コロナの影響下で不安を強いられる生活を送る利用者一人ひとりに対し、障がいの個別ニーズに応え、利用者の自立と地域での生活継続の実現のため役割を果たした。

公4-6. 高齢者介護事業

介護保険法に基づく居宅介護支援と訪問介護を行った。週2回の抗原検査を受けつつ、数少ないヘルパー間でサポートをしあいながら、安定したサービス提供を継続するために努力した。高齢者を対象とした詐欺の被害が急増していることから、「詐欺チェックシート」を独自に作成した。繰り返し伝えることで、被害を未然に防ぐことにつながった。

公4-8. 介護予防体験事業

調布市高齢者健康づくり事業の一環である「ティーポットサロン」は、高齢者が地域でいつまでも元気に過ごすことを目的にしており、今年度も毎回魅力的なプログラムを提供した。交流と仲間づくりの場として参加者は楽しみに集まってきた。感染状況が落ち着いてようやく通年で開催することができ、久しぶりのお食事会は特に好評であった。

公4-9. 統合保育事業

各地で定員割れの保育園が出ている中で「東京YWCAまきば保育園」は、定員を満たし98名の園児が入園した。職員体制は年度途中での産休、育休、介護休が出る中でも、職員どうしが自主的に話し合い、子どもの意志を尊重し多様性を認

め合う保育を継続することができた。感染症罹患は続いたが、行事は親子で参加できるようにした。年度途中で園長が交代したが、後期懇談会では保護者アンケートをもとによりよい保育園づくりを目指して語り合う場を設け、さらにコミュニケーションを深める努力を続けた。

公4-11. 学童保育事業

2009年度に調布市から委託を受け、2015年度より学童クラブ3か所、放課後子供教室（あそびバ）3か所の運営をしていたが、今年度より布田小学学童は、従来の学童を第1とし、新たに校舎に増設された建物の1階部分に第2学童を開設し、学童クラブは計4か所となった。

新型コロナの5類への移行後、日常の育成やあそびバの活動、各行事は感染拡大前の状況に近い形で行えるように努め、学童・あそびバ共に子どもたちの心のケアと保護者対応に努力した。

わいわい学童クラブは次年度の暫定定員増実施に伴う設備面等の準備を行った。

IV-1 療育事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キッズ ガーデン	延日数	16	19	21	21	21	20	21	20	20	16	19	19	233
	延実績利用者数	311	351	383	303	333	357	385	363	351	290	344	363	4134
	延実習生人数	0	0	9	2	4	4	4	3	1	0	15	24	66
シマウマ くらぶ	延日数	4	3	4	3	3	3	4	4	4	3	4	5	44
	延実績利用者数	53	24	29	30	32	34	36	29	41	29	40	55	432
	延実習生人数	0	0	1	0	0	1	1	2	4	1	0	0	10

* キッズガーデン: 障がい児(未就学児)児童発達支援事業。 シマウマくらぶ: 障がいのある小中高生のための放課後等デイサービス(土曜)

キッズガーデン	延回数	延参加者数	シマウマくらぶ	延回数	延参加者数
保護者勉強会	9	14	保護者会	9	85
保護者参加プログラム	17	173	保護者参加プログラム	5	57
統合保育研修会	4	44			
連携訪問	7				

IV-2 発達支援相談事業

児童発達支援センター機能

相談支援		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害児支 援利用計 画	契約数	85	85	86	86	90	90	92	92	94	95	96	97	1088
	請求数	8	22	21	27	21	29	20	26	36	13	19	48	290
サービス等 利用計画	契約数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	請求数	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3

	延回数	延件数
子ども発達支援室(板橋)	9	5
子ども発達支援巡回相談(板橋)	9	9
OT相談室(板橋)	-	-
療育個別相談(国領)	-	-
療育グループ(国領)	-	-

IV-3 発達支援体験事業

障がいまたは発達にニーズのある子どものための体験活動

		延回数	延参加者数	延ボランティア数
板橋	サポートプログラム にじいろ教室(陶芸)	12	179	26
	サポートプログラム にじいろ教室(ヨガ&ダンス)	11	61	0
	サポートプログラム にじいろ教室(絵画・造形)	12	82	5
	サポートプログラム にじいろ教室(体操)	12	84	3
	サポートプログラム にじいろ教室(料理)	6	31	9
国領	陶芸(小学生以上対象)(国領)	-	-	
	音楽療法(幼児から中学生)(国領)	-	-	
	サッカークリニック 1(小学生)(国領)	7	44	
	サッカークリニック 2(中学生から)(国領)	7	54	
	カシオペア(集団生活スキル 小学生～中学生)(国領)	-	-	

IV-4 障がい児家族支援体験事業

	延回数	延参加者数	延ボランティア数
障がい児「きょうだいの会」 きらりんこ(きょうだい児対象のプログラム)	4	63	15
障がい児「きょうだいの会」 いどばた(親同士の情報交換の場)	4	25	6
障がい児「きょうだいの会」 ふぁみりんこ(家族で交流するプログラム)	-	-	-
いっぽの会(親子参加型の自然体験プログラム)	-	-	-

IV-5 障がい児・者介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	在籍利用者数	19	19	18	17	16	17	17	17	17	17	17	17	208
	実績利用者数	16	18	17	17	12	15	15	15	16	15	16	16	188
訪問回数	居宅介護	98	96	102	87	93	91	92	91	94	88	88	93	1113
	重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移動支援	41	46	47	35	18	23	28	25	26	25	25	23	362
	合計	139	142	149	122	111	114	120	116	120	113	113	116	1475
訪問時間	居宅介護	122.75	124.50	128.25	111.00	123.75	115.25	112.75	118.25	121.00	112.75	115.50	116.50	1422.25
	重度訪問介護	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	移動支援	38.50	43.50	42.00	39.00	28.50	31.00	32.00	31.50	34.75	30.50	33.50	29.00	413.75
	合計	161.25	168.00	170.25	150.00	152.25	146.25	144.75	149.75	155.75	143.25	149.00	145.50	1836.00

IV-6 高齢者介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護支援	在籍利用者数	43	39	42	41	42	44	43	42	41	40	40	38	495
	利用実績数	42	40	40	42	42	40	41	41	40	39	42	40	489
	認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	7
訪問介護	在籍利用者数	35	35	34	37	35	36	37	34	37	36	34	33	423
	実績利用者数	34	34	34	37	33	33	37	33	35	35	32	33	410
訪問回数	要介護1～5	105	107	100	100	96	86	100	99	87	86	87	80	1133
	要支援1～2	91	104	101	102	101	95	98	96	88	87	81	86	1130
	自由契約	11	10	4	6	4	4	8	5	7	8	11	13	91
	合計	207	221	205	208	201	185	206	200	182	181	179	179	2354
訪問時間	要介護1～5	127.25	130.5	121.33	117.25	112	97.24	117	115.25	103	101.5	106.25	91.5	1340.07
	要支援1～2	84	98.5	92.75	93	92	86.08	96.25	86.5	82.75	78.75	74.25	79	1043.83
	自由契約	10.5	19.24	4.67	6.75	3.25	5.5	10.67	3.83	7.67	10.84	10	12	104.92
	合計	221.75	248.24	218.75	217	207.25	188.82	223.92	205.58	193.42	191.09	190.5	182.5	2488.82

IV-7 高齢者電話相談事業

シニアダイヤル(孤独なときの身近な相談相手としての電話相談)

延開室日数	延相談員数	年間相談件数
269	451	1603

研修

	回数	日にち	延講師数	延参加者数
「怒り」を知って 自分を活かす 相手と向き合う(公開研修)	1	10/21	1	43
シニアダイヤル新相談員研修(全9回)	1	11/18～3/9	11	54

IV-8 介護予防体験事業

	延回数	延参加者数
ティーポットサロン(地域に開かれた交流の場)	21	407

IV-9 統合保育事業

まきば保育園(国領)	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
	在籍者数(3月末)	9	16	16	19	19	19	98

※実習生受け入れ(年間延)87人

まきば保育園地域交流事業

子育て相談 (たんぽぽ広場)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延回数	9	8	10	12	10	10	10	10	9	11	12	8	119
延人数	30	22	54	50	34	79	50	70	75	72	66	50	652

その他の地域交流事業	日にち	参加者
国領オータムフェア	10/21	400

IV-10 読むことが困難な人々への支援事業(DAISY)

ボランティア講習会

講座名	日にち	延講師数 (アシスタント含)	延参加者数
音訳講習会(全9回)	9/6～11/29	9	127
マルチメディアDAISY講習会(全2回)	12/14～12/15	10	20

マルチメディアデージー図書製作

*新規製作なし

IV-11 学童保育事業

学 童 ク ラ ブ	わいわい(定員70人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	在籍数	70	69	70	70	70	68	68	69	68	68	69	70	829
	開所日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	293
	延べ利用者数	1163	1145	1231	1116	938	1075	1110	1158	949	1010	1022	1067	12984
	染地小(定員50人)													
	在籍数	50	50	50	50	49	49	46	45	44	44	42	42	561
	開所日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	293
	延べ利用者数	805	774	843	780	617	712	701	657	527	552	580	568	8116
	布田小第1(定員70人)													
	在籍数	70	70	70	69	68	67	66	66	68	67	66	66	813
	開所日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	293
	延べ利用者数	1179	1170	1303	1150	1016	1063	1075	1128	1117	971	945	1095	13212
	布田小第2(定員70人)													
	在籍数	70	70	70	70	70	70	70	69	69	69	68	67	832
	開所日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	293
	延べ利用者数	1129	1123	1265	1136	1027	1007	1017	1086	1000	895	914	967	12566
放 課 後 子 供 教 室	杉森小													
	開所日数	24	24	25	25	26	23	25	24	24	23	23	23	289
	延べ利用者数	719	765	804	590	279	516	515	505	568	482	446	385	6574
	染地小													
	開所日数	24	24	25	25	26	23	25	24	24	23	23	25	291
	延べ利用者数	298	339	348	402	270	258	273	227	239	162	182	202	3200
	布田小													
	開所日数	24	23	25	25	26	23	24	24	24	23	23	25	289
	延べ利用者数	759	755	891	689	443	583	647	697	661	536	552	585	7798

V 非営利機関・団体への施設貸与事業

(公益目的事業 事業番号：公5)

この事業は、この法人の目的と共通性のある目的をもつ非営利の機関及び団体にこの法人が所有する施設を貸与する事業です。

東京YWCA会館 3 階に入居しているテナントに動きはなく、通年、満室で推移した。2 階の一部も通年で貸与した。カフマンホールや会議室は、非営利団体が開催する講演会や資格試験、会議の場として活用された。

非営利機関・団体優先フロア(賃貸契約)2024 年 3 月末現在

貸与先団体数	10 (12 室)
--------	------------

貸し会議室(時間貸し)

貸与先団体数	9	貸与件数	180
--------	---	------	-----

VI 東日本大震災被災者支援事業 (公益目的事業共通)

東日本大震災被災者支援事業は、2023 年度から公1 平和と人権事業の公1-4 紛争・災害時緊急支援事業に引き継いだ。

VII 収益事業および共益的な事業

1. 不動産賃貸事業

東京YWCA会館 4 階から 8 階はフロアごとに賃貸している。9 月に 2 フロアが退去したが、続けて次の入居があった。1 月末には別の 1 フロアが退去したが年度末時点で契約に至らず、予算収益に到達しなかった。また 1 階から 3 階の一部を通年で貸与した。

2. フィットネスクラブ事業

収益事業として運営するフィットネスクラブでは、4 月中旬から 1 カ月余り、シャワー給湯設備の整備のため、プール・シャワーの利用を停止し、スタジオのみで営業をおこなった。フリーコースメンバーの在籍状況は年間平均は昨年並みで、下半期の入会が伸びず、年度末の在籍数は前年比、約 6%減となった。一方、スクール受講者は全体的に増え、特にスタジオでの身体調整やバレエ入門などのクラスが堅調であった。キャッシュレス化の流れの中で、クレジット決済のシステムを導入し、受講者獲得を図った。

3. 語学事業及び教養講座事業 (休止)

4. 販売事業

会館地下のフィットネスクラブに飲料自販機を設置し、利用者へのサービス提供と、些少の手数料収益を得た。

5. 理解普及事業 (会員グループ)

グループ活動での学びや親睦を通して、一人ひとりのリーダーシップを培い、東京YWCAが目指す、平和な社会を実現する人を育てることを目的に事業をおこなった。平和・環境・聖書・語学などの学び、創作活動、音楽など、多様な活動が展開された。

Ⅶ 収益事業および共益的な事業

Ⅶ-1 不動産賃貸事業

不動産賃貸(賃貸契約)2024年3月末現在

貸与先団体数	7
(9室)	

貸し会議室(時間貸し)

貸与先団体数	11
貸与件数	46

ゆかりハウス

貸与先団体数	2
貸与件数	2

Ⅶ-2 フィットネスクラブ事業

在籍数

	延入会者	延退会者	3月末在籍数
フリーコースメンバー	75	96	288
法人メンバー	0	0	1

スクール

クラス	年間実施回数	累計参加者数	クラス	年間実施回数	累計参加者数
アーティスティックスイミングA	41	394	スイミング中級C	39	446
アーティスティックスイミングB	40	663	スイミング中～上級	40	344
アーティスティックスイミング基礎	39	492	スイミング上級	42	530
アーティスティックスイミング入門	38	405	ダイビング	39	228
水中ウォーキングA	41	689	日本泳法基礎	41	281
水中ウォーキングB	39	462	日本泳法A	41	387
水中ウォーキングC	42	402	日本泳法B	41	228
水中ウォーキングM	41	748	身体とココロのコンディショニング	41	461
スイミング カモメ	40	397	身体調整エクササイズ	43	491
スイミング フラミンゴ	39	666	太極舞	35	226
スイミング初級A	41	466	転倒予防エクササイズ	43	326
スイミング初級B	42	183	バーアスティエ & バレエ入門	44	483
スイミング中級A	40	452	バレエ初級	41	220
スイミング中級B	41	574	リンパビクス	40	226

パーソナルレッスン

	延参加者数
スタジオマンツーマンレッスン	458
プールプライベートレッスン	118
ミズノアクア	4

Ⅶ-5 会員グループ(理解普及事業)

グループ登録数	グループ登録者数		
	会員	一般	合計
29	144	22	166

(2024年3月末現在)

VIII その他

VIII-1 会員数

	人数
成人会員（18歳以上の女性）	577
年少会員（18歳未満の女性）	1
成人会友（18歳以上の男性）	27
年少会友（18歳未満の男性）	0
賛助会員	20
合計	625

（2024年3月末現在）

VIII-2 職員数

常勤職員（2024年3月末現在）113人

VIII-3 事業に参加したボランティア

事業名	ボランティア延人数	ボランティア延時間
I 平和と人権事業		
事業部共通事項	21	40.0
1 日本で学ぶ外国人留学生支援事業	1680	2669.0
2 留学生助成事業	50	143.5
3 中国帰国者日本語支援事業	99	148.5
4 平和をつくるキャンペーン事業	185	369.0
4 紛争災害時緊急支援事業	39	78.0
5 平和と人権に関する人材育成事業	12	22.5
6 NPO/NGO 団体への語学支援	57	114.0
I 合計	2143	3584.5
II 青少年育成事業		
1 教育キャンプ	62	3028.0
2 体験活動	10	48.0
3 学習支援	671	2026.5
4 青少年リーダー養成	21	528.0
II 合計	764	5630.5
III 女性の健康事業		
3 障がい児・者の健康づくり	244	366.0
IV 社会福祉に資する事業		
7 高齢者電話相談事業	504	1510.0
10 読むことが困難な人々への支援事業	36	69.0
IV 合計	540	1579.0
合計	3691	11160.0

※単発で行なったプログラムは入っていません。

VIII-4 出版物

名称	発行回数/年	発行部数	単価	事業
東京YWCA	11	1000	なし	財団管理
Newsletter	2	2000	なし	財団管理
あゆみ 89号	1	400	なし	日本で学ぶ留学生支援

VIII-5 世界YWCA・日本YWCAが実施した集会・研修等への派遣

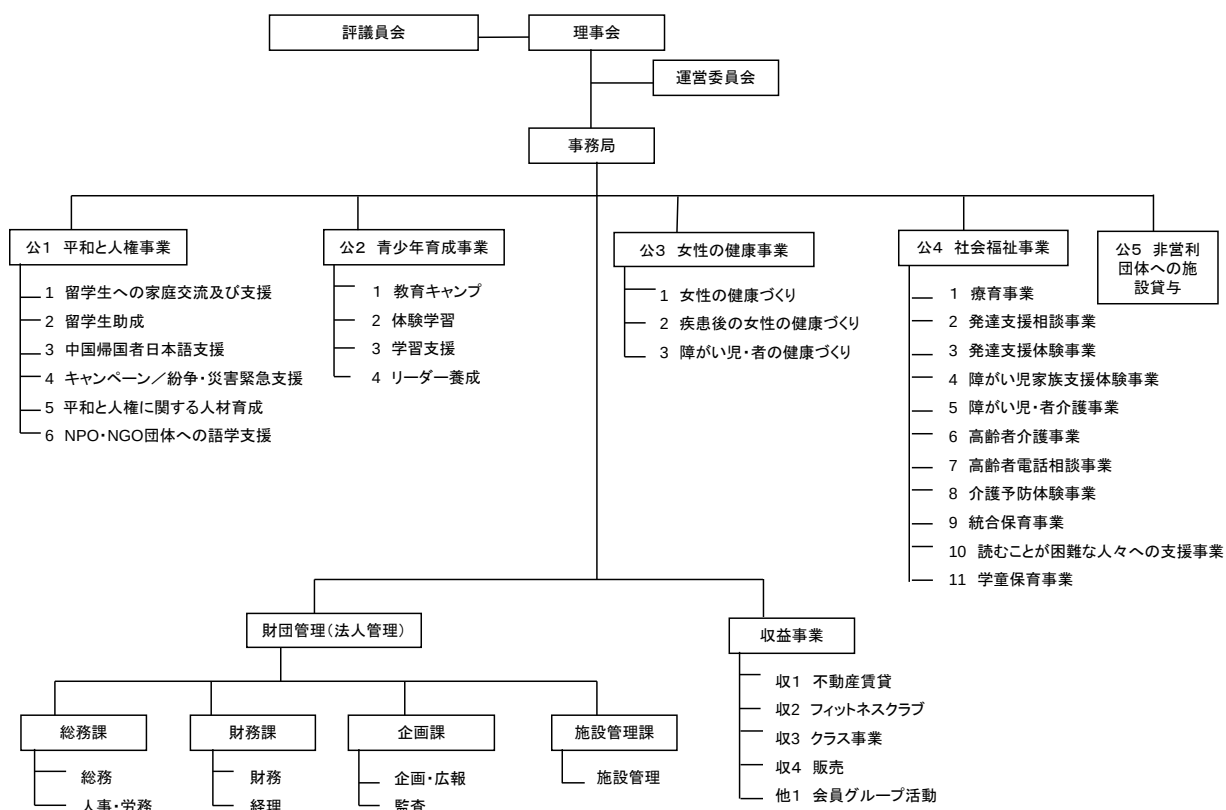
名称	日にち	場所	東京YWCAが派遣した人数
世界YWCA総会	11/27～12/1	オンライン	代議員1人、オブザーバー5人
国連女性の地位委員会（CSW68）	3/10～3/16	ニューヨーク	5人

VIII-6 YWCA関連の海外からの来訪者または訪問

※来訪者なし

	日にち	場所	東京YWCAから出席した人数
中国YWCA100周年記念式典（訪問）	11/12～11/15	上海	3人

■2023 年度 公益財団法人東京YWCA 組織図



■理事・監事 (2024/3/31 現在)

代表理事 栗林(坂口)和子

常務理事 能美祐子

理事 稲田恵子 尾崎裕美子 岸(徳永)紀子 高橋りえ子 新美まり 林(土岐)祥子 柳下史織

監事 柴田幸子 横川民子

■評議員 (2024/3/31 現在)

岩城紀代子 岩村太郎 内山佳子 小澤伊久美 白幡ゆき子 本田真也 町田洋子 桃井和馬

八木昭子 横田(増田)琴 吉岡光人

貸借対照表
2024年3月31日現在

公益財団法人東京YWCA

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	412,845,390	435,261,822	△ 22,416,432
未収金	22,972,172	20,090,363	2,881,809
商品	196,844	170,976	25,868
貯蔵品	6,475	17,354	△ 10,879
前払費用	176,000	176,000	0
前払金	3,681,188	3,598,384	82,804
立替金	25,648	341	25,307
流動資産合計	439,903,717	459,315,240	△ 19,411,523
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本土地	86,917,089	86,917,089	0
基本建物	668,243,243	699,731,134	△ 31,487,891
基本建物付属設備	96,285	501,088	△ 404,803
基本財産預金	141,000,000	141,000,000	0
基本財産合計	896,256,617	928,149,311	△ 31,892,694
(2) 特定資産			
建物	136,297,701	141,083,137	△ 4,785,436
建物付属設備	36,839,281	42,888,234	△ 6,048,953
構築物	4,830,835	5,302,278	△ 471,443
什器備品	2,339,558	2,656,707	△ 317,149
特定ソフトウェア	385,000	517,000	△ 132,000
女性の健康サポート特定資産	15,000,000	15,000,000	0
留学生基金特定資産	26,475,423	26,475,423	0
留学生資金特定資産	3,480,732	3,530,732	△ 50,000
留学生奨学金特定資産	5,946,811	5,009,205	937,606
会員サポート特定資産	800,000	800,000	0
武蔵野拠点運営費積立資産	23,997,561	26,262,837	△ 2,265,276
介護職員研修特定資産	768,947	768,947	0
中国帰国者日本語教室特定資産	1,431,161	1,431,161	0
福島の子どもたちをキャンプに呼ぶ特定資産	1,821,638	1,821,638	0
預り敷金積立資産	135,039,880	164,487,360	△ 29,447,480
フィットネス預り保証金引当資産	2,400,000	2,700,000	△ 300,000
野外環境教育預り保証金引当資産	200,000	9,400,000	△ 9,200,000
会館整備費積立資産	172,679,801	172,679,801	0
会館修繕費積立資産	61,814,620	61,814,620	0
板橋センター増改築特定資産	33,772,050	26,772,050	7,000,000
保育園施設・設備整備特定資産	67,000,000	60,000,000	7,000,000
空調改修工事積立資産	340,000,000	270,000,000	70,000,000
プール設備改修工事積立資産	19,000,000	19,000,000	0
デジタルアーカイブ積立資産	444,003	339,003	105,000
フィットネスクラブ施設整備特定資産	3,261,940	6,451,940	△ 3,190,000
女性と少女のための人材育成特定資産	10,200,000	10,200,000	0
教育キャンプ実施と施設整備特定資産	41,000,000	41,000,000	0
プール設備整備特定資産	3,964,091	3,964,091	0
療育事業備品等設備整備特定資産	5,694,520	6,012,040	△ 317,520
キャンプキャビン雪害工事特定資産	0	847,000	△ 847,000
キャンプ場施設整備特定資産(フォレストクラブ有志による)	7,000,000	0	7,000,000
平和キャンペーン特定資産	900,000	0	900,000
学習支援いちごの部屋特定資産	1,000,000	0	1,000,000
特定資産合計	1,165,785,553	1,129,215,204	36,570,349

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
(3) その他固定資産			
土地	1,993,095	1,993,095	0
建物	159,240,253	166,472,366	△ 7,232,113
建物附属設備	175,085,770	191,524,941	△ 16,439,171
構築物	2,458,163	2,008,299	449,864
車両運搬具	1	204,167	△ 204,166
什器備品	2,633,768	1,234,142	1,399,626
リース資産	16,530,789	11,739,057	4,791,732
ソフトウェア	4	4	0
差入保証金	50,000	50,000	0
差入敷金	800,000	800,000	0
出資金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	358,821,843	376,056,071	△ 17,234,228
固定資産合計	2,420,864,013	2,433,420,586	△ 12,556,573
資産合計	2,860,767,730	2,892,735,826	△ 31,968,096
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	33,438,659	30,280,232	3,158,427
未払法人税等	10,429,600	23,850,300	△ 13,420,700
未払消費税等	8,484,400	9,261,100	△ 776,700
前受金	4,845,358	7,574,980	△ 2,729,622
前受会費	5,000	0	5,000
預り金	11,087,483	2,733,920	8,353,563
1年内返済予定長期借入金	2,760,000	2,760,000	0
1年内返済予定リース債務	5,010,060	2,703,756	2,306,304
流動負債合計	76,060,560	79,164,288	△ 3,103,728
2. 固定負債			
長期借入金	20,930,000	23,690,000	△ 2,760,000
預り保証金	2,600,000	12,100,000	△ 9,500,000
預り敷金	135,039,880	164,487,360	△ 29,447,480
長期リース債務	11,520,729	9,035,301	2,485,428
固定負債合計	170,090,609	209,312,661	△ 39,222,052
負債合計	246,151,169	288,476,949	△ 42,325,780
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	392,164,612	392,357,912	△ 193,300
補助金・助成金	127,803,924	125,748,947	2,054,977
指定正味財産合計	519,968,536	518,106,859	1,861,677
(うち基本財産への充当額)	149,701,634	152,660,062	△ 2,958,428
(うち特定資産への充当額)	370,266,902	365,446,797	4,820,105
2. 一般正味財産	2,094,648,025	2,086,152,018	8,496,007
(うち基本財産への充当額)	746,554,983	775,489,249	△ 28,934,266
(うち特定資産への充当額)	659,778,771	587,181,047	72,597,724
正味財産合計	2,614,616,561	2,604,258,877	10,357,684
負債及び正味財産合計	2,860,767,730	2,892,735,826	△ 31,968,096

正味財産増減計算書

2023年04月01日から2024年03月31日まで

公益財団法人東京YWCA

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	2,802	2,800	2
基本財産受取利息	2,802	2,800	2
②特定資産運用益	143,097	55,542	87,555
特定資産受取利息	1,250	1,495	△ 245
特定資産有価証券利息	140,250	52,750	87,500
特定資産受取利息振替額	1,597	1,297	300
③受取会費	3,409,100	3,634,000	△ 224,900
成人受取会費	2,962,100	3,109,500	△ 147,400
年少会員受取会費	2,000	1,500	500
成人会友受取会費	135,000	138,000	△ 3,000
賛助会員受取会費	310,000	385,000	△ 75,000
④事業収益	553,719,981	558,409,920	△ 4,689,939
登録費収益	2,873,600	2,930,600	△ 57,000
授業料・講習料収益	57,902,130	46,687,294	11,214,836
フィットネス会費収益	69,250,520	72,720,780	△ 3,470,260
利用料収益	12,209,765	10,991,910	1,217,855
教材費収益	41,800	41,800	0
手数料収益	193,570	202,164	△ 8,594
売上収益	1,298,705	902,280	396,425
施設設備利用料収益	4,667,429	4,622,342	45,087
賃貸料収益	308,362,378	322,935,933	△ 14,573,555
障がい児者支援費収益	77,978,825	80,485,888	△ 2,507,063
障がい児者利用負担金収益	4,898,170	1,977,459	2,920,711
相談料収益	20,000	84,500	△ 64,500
高齢者介護報酬収益	12,869,665	12,660,729	208,936
高齢者利用負担金収益	1,135,824	1,102,991	32,833
高齢者受託収益	17,600	63,250	△ 45,650
⑤受取補助金等	385,137,139	364,611,834	20,525,305
受取国庫補助金助成金	0	42,000	△ 42,000
受取地方補助金 助成金	56,512,560	101,598,410	△ 45,085,850
受取民間補助金助成金	3,511,346	1,859,970	1,651,376
受取受託収益	274,015,440	253,657,130	20,358,310
受取支援金	0	2,442,600	△ 2,442,600
受取補助金等振替額	51,097,793	5,011,724	46,086,069
⑥受取寄付金	18,534,955	19,357,256	△ 822,301
受取寄付金	6,859,049	7,359,191	△ 500,142
受取寄付金振替額	11,675,906	11,998,065	△ 322,159
⑦雑収益	8,006,863	11,944,038	△ 3,937,175
受取利息	12,175	11,802	373
その他雑収益	7,904,688	11,784,236	△ 3,879,548
受入研修費収益	90,000	148,000	△ 58,000
経常収益計	968,953,937	958,015,390	10,938,547
(2) 経常費用			
①事業費	928,287,122	918,285,707	10,001,415
職員給料手当	105,583,289	98,113,140	7,470,149
職員通勤手当	3,563,567	3,519,152	44,415
職員法定福利費	18,034,191	16,448,354	1,585,837
職員中退共退職金	3,393,797	3,226,400	167,397
教員給料手当	184,858,500	199,103,399	△ 14,244,899

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
教員通勤手当	5,081,364	5,088,120	△ 6,756
教員法定福利費	29,187,006	30,122,338	△ 935,332
教員中退共退職金	7,311,980	7,986,320	△ 674,340
非常勤給料手当	133,705,835	125,937,110	7,768,725
非常勤通勤手当	5,129,619	4,761,618	368,001
非常勤法定福利費	9,567,864	6,390,201	3,177,663
福利厚生費	1,798,056	1,854,923	△ 56,867
手数料	6,219,882	6,602,538	△ 382,656
委託費	50,209,662	48,577,992	1,631,670
支払報酬	11,546,265	10,672,451	873,814
消耗品費	14,573,591	12,626,967	1,946,624
消耗備品費	174,900	1,924,593	△ 1,749,693
食材費	10,501,567	10,085,571	415,996
旅費交通費	7,908,081	3,835,484	4,072,597
通信運搬費	7,428,507	6,008,251	1,420,256
印刷製本費	255,883	873,569	△ 617,686
広告宣伝費	11,000	23,100	△ 12,100
会議費	472,184	257,838	214,346
渉外費	28,172	11,900	16,272
諸会費	324,028	386,000	△ 61,972
教材費	3,204,977	3,163,633	41,344
新聞図書費	227,564	312,419	△ 84,855
研修費	471,600	195,226	276,374
賃借料	3,752,943	3,277,612	475,331
リース料	8,627,445	9,052,186	△ 424,741
仕入費	1,024,009	732,393	291,616
修繕費	12,500,651	6,679,973	5,820,678
衛生清掃費	20,502,358	19,896,319	606,039
光熱水費	60,354,227	59,371,180	983,047
保険料	3,699,200	3,515,205	183,995
公租公課	107,411,310	116,647,932	△ 9,236,622
支払寄付金	483,982	1,000	482,982
保守点検料	10,958,779	12,668,669	△ 1,709,890
非常勤通勤手当	1,490,000	1,440,000	50,000
支払利息	302,220	335,340	△ 33,120
雑費	613,921	1,076,165	△ 462,244
減価償却費	75,793,146	75,483,126	310,020
②管理費	40,579,849	44,914,966	△ 4,335,117
職員給料手当	12,946,138	17,593,239	△ 4,647,101
職員通勤手当	543,409	569,272	△ 25,863
職員法定福利費	2,311,223	2,809,207	△ 497,984
職員中退共退職金	215,683	315,600	△ 99,917
非常勤給料手当	1,126,740	459,680	667,060
非常勤通勤手当	45,829	8,490	37,339
非常勤法定福利費	229,971	10,595	219,376
福利厚生費	32,901	493,378	△ 460,477
手数料	671,205	2,254,093	△ 1,582,888
委託費	3,837,937	3,207,727	630,210
支払報酬	2,824,912	1,993,259	831,653
消耗品費	860,081	1,035,834	△ 175,753
旅費交通費	243,233	85,186	158,047
通信運搬費	1,431,780	1,398,936	32,844
印刷製本費	2,006,835	2,075,105	△ 68,270
会議費	6,923	3,836	3,087
渉外費	39,534	39,326	208

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
諸会費	48,972	44,800	4,172
加盟分担金	4,090,000	4,071,000	19,000
教材費	5,200	0	5,200
新聞図書費	31,051	17,262	13,789
研修費	275,460	192,240	83,220
賃借料	101,376	103,373	△ 1,997
リース料	214,575	444,786	△ 230,211
修繕費	133,510	43,130	90,380
衛生清掃費	312,131	316,230	△ 4,099
光熱水費	1,688,232	1,587,965	100,267
保険料	309,755	329,172	△ 19,417
公租公課	1,771,270	1,404,058	367,212
保守点検料	845,926	1,110,502	△ 264,576
雑費	15,199	12,650	2,549
減価償却費	1,362,858	885,035	477,823
経常費用計	968,866,971	963,200,673	5,666,298
評価損益等調整前当期経常増減額	86,966	△ 5,185,283	5,272,249
当期経常増減額	86,966	△ 5,185,283	5,272,249
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① その他の雑収益	9,453,146	531,975	8,921,171
還付金	277,600	411,200	△ 133,600
その他雑収益	9,175,546	120,775	9,054,771
② 固定資産売却益	0	9,999	△ 9,999
什器備品売却益	0	9,999	△ 9,999
経常外収益計	9,453,146	541,974	8,911,172
(2) 経常外費用			
① その他の雑損失	481,100	485,800	△ 4,700
雑損失	481,100	485,800	△ 4,700
② 固定資産除却損	250,005	4,263,532	△ 4,013,527
建物付属設備除却損	250,004	107,338	142,666
車両運搬具除却損	0	2	△ 2
什器備品除却損	1	4	△ 3
図書除却損	0	1,761,120	△ 1,761,120
電話加入権除却損	0	2,395,068	△ 2,395,068
③ 受取補助金等返還額	313,000	960,000	△ 647,000
経常外費用計	1,044,105	5,709,332	△ 4,665,227
当期経常外増減額	8,409,041	△ 5,167,358	13,576,399
当期一般正味財産増減額	8,496,007	△ 10,352,641	18,848,648
一般正味財産期首残高	2,086,152,018	2,096,504,659	△ 25,352,641
一般正味財産期末残高	2,094,648,025	2,086,152,018	△ 6,503,993
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益	1,597	1,297	300
特定資産受取利息	1,597	1,297	300
② 受取補助金等	53,152,770	0	53,152,770
受取地方補助金 助成金	53,152,770	0	53,152,770
③ 受取寄附金	11,482,606	1,957,672	9,524,934
受取寄附金	11,482,606	1,957,672	9,524,934
④ 一般正味財産への振替額	△ 62,775,296	△ 17,011,086	△ 45,764,210
一般正味財産への振替額	△ 62,775,296	△ 17,011,086	△ 45,764,210
当期指定正味財産増減額	1,861,677	△ 15,052,117	16,913,794
指定正味財産期首残高	518,106,859	533,158,976	△ 15,052,117
指定正味財産期末残高	519,968,536	518,106,859	1,861,677
III 正味財産期末残高	2,614,616,561	2,604,258,877	10,357,684

補助金及び助成金
2023年4月1日から2024年3月31日

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地方公共団体補助金助成金					0	
(公1:平和と人権)東京ウィメンズプラザ配偶者暴力防止等民間活動助成事業	東京都	0	439,000	439,000	0	
(公4)調布市民間保育所等運営費等補助金	調布市	60,000,000	59,090,970	52,090,970	67,000,000	特定資産
(公4)調布市延長保育事業費補助金	調布市	0	600,700	600,700	0	
(公4)東京都保育士等キャリアアップ補助金	東京都	0	11,432,000	11,432,000	0	
(公4)東京都保育サービス推進事業補助金	東京都		7,474,000	7,474,000	0	
(公4)調布市運営費等補助金(市基準・運営費)子育て広場	調布市	0	1,600,000	1,600,000	0	
(公4)調布市保全樹木等せん定補助金	調布市	0	500,000	500,000	0	
(公4)調布市保全地区等の保全に関する補助金(保護樹)	調布市	0	76,000	76,000	0	
(公4)調布市高齢者健康づくり事業補助金	調布市	0	600,000	600,000	0	
(公4)保育施設等新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業費補助金	調布市	0	750,000	750,000	0	
(公4)調布市保育所等安全対策支援事業費補助金	調布市	0	2,000,000	2,000,000	0	
(公4)板橋区障がい児療育訓練事業補助金	板橋区	0	8,483,000	8,483,000	0	
(公4)板橋区児童発達支援センターサービス推進事業補助金	板橋区	0	14,678,000	14,678,000	0	
(公4)児童発達支援センター地域支援体制確保事業補助金	東京都	0	386,000	386,000	0	
(公4)さいたま市民間保育所補助金	さいたま市	0	239,200	239,200	0	
(公4)府中市民間保育所委託費・補助金	府中市		47,220	47,220	0	
(公4)東京都障害者児童福祉施設物価高騰対策支援金	東京都	0	255,240	255,240	0	
(公4)板橋区障がい者(児)福祉施設物価高騰対策支援金	板橋区	0	840,000	840,000	0	
(公4)東京都障がい者(児)通所支援事業所における送迎バス等安全対策支援事業補助金	東京都	0	174,000	174,000	0	
民間補助金助成金						
(公1)支援者エンパワメントプログラムのために パブリックリソース財団 (Give oneサイト)	(公財)パブリックリソース財団	0	25,380	25,380	0	
(公2:学習支援)赤い羽根「外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」	(福)中央共同募金会	0	2,310,000	2,310,000	0	
(公3)東京都共同募金会配分金 肢体不自由者水泳指導のために	(福)東京都共同募金会	0	300,000	300,000	0	
(公4:保育園)独立行政法人福祉医療機構借入金利子補給費	(公財)東京都福祉保健財団	0	302,220	302,220	0	
(公4:保育園)クラブサークル活動助成金	(福)福利厚生センター	0	28,000	28,000	0	
(公4:保育園)生活習慣病予防健診助成金	(福)福利厚生センター	0	45,746	45,746	0	
(公4)音訳講習会、マルチメディアデイズ講習会後援支給金	愛恵福祉支援財団	0	500,000	500,000	0	
合 計		60,000,000	113,176,676	106,176,676	67,000,000	

事業を行っている主な拠点

東京YWCA会館	〒101-0062 TEL 03-3293-5421 (代表) FAX 03-3293-5570	東京都千代田区神田駿河台 1-8-11
東京YWCA板橋センター	〒174-0043 TEL 03-5914-1854 FAX 03-5914-1852	東京都板橋区坂下 1-34-25
東京YWCA国領センター	〒182-0022 TEL 042-483-5151 FAX 042-483-5207	東京都調布市国領町 7-11-1
東京YWCA武蔵野センター	〒180-0004 TEL 0422-27-5871 FAX 0422-27-5872	東京都武蔵野市吉祥寺本町 4-9-28
東京YWCA野尻キャンプ場	〒389-1312 TEL 026-255-2414	長野県上水内郡信濃町富濃 3946

公益財団法人東京YWCA

URL: <https://www.tokyo.ywca.or.jp/>
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11
2024 年 6 月発行